

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 29年 6月 9日

京都府知事 様



提出者

住 所 京都府福知山市長田野町2-47-2

氏 名 株式会社ポテトフーズ関西工場

工場長 大串 雅洋

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0773-20-2461

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ポテトフーズ関西工場
事業場の所在地	京都府福知山市長田野町2-47-2
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	そうざい製造業
②事業の規模	1,995百万円
③従業員数	125名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物処理責任者：

種 別	担 当 部 署
動植物性残渣	製 造 課
汚泥	
廃プラ	管 理 課

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 28年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラ	
	排 出 量	2,032.6t	503.9t	30.0t	
	(これまでに実施した取組) ・設備投資によるカットロス削減 ・TPM活動による従業員技能向上 ・カットロスの水切りによるロス削減 ・仕掛品及び製品ロスの減少				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃プラ	
	排 出 量	1,900t	450t	29.0t	
	(今後実施する予定の取組) ・馬鈴薯カットロスの削減 ・スチームタイム等調整による芋皮ロス削減 ・仕掛品及び製品ロスの減少 ・講習会参加による技能向上				

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・法を遵守し、種別に分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の維持管理を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	503.9 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 日常運転管理の精度を上げた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚 泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	450.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 日常運転管理の精度を上げる。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥
	全処理委託量	2,032.6 t	503.9 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,032.6 t	503.9 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
・ 動植物性残渣、汚泥のバイオガス発電、堆肥への再利用			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥
	全処理委託量	1,900.0 t	450.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,900.0 t	450.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・動植物性残渣、汚泥のバイオガス発電、堆肥の再利用		
※事務処理欄			